

令和2年度学校自己評価システムシート (県立浦和第一女子高等学校・定時制)

目指す学校像	一人一人が大切にされ、落ち着いた学べる教育を推進し、社会ではばたく力を育てる。
--------	---

重点目標	1 「授業がいのち」を合い言葉に、一人一人の資質・能力に応じた丁寧な指導を通して基礎学力の充実を図る。 2 生徒の実態に即したきめ細かな指導を通して将来への展望を拓かせる。 3 地域社会・保護者等と連携した教育活動を推進する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	【現状】 生徒個々の学力に差はあるが、全体として学習意欲はあり、授業についての満足度も高い。一人一人の進路、資質・能力に応じた授業展開を行う必要がある。 【課題】 ・教育活動を通し「授業がいのち」という学校文化を根付かせる。 ・プロジェクタ等のICT機器を有効活用する等して質の高い授業を展開する。 ・日本語指導が必要な生徒に対する支援を引き続き行う。	教職員が日々研鑽し、生徒が主体的に参加し、学ぶ意欲を高めるための質の高い授業改善を行う。	①生徒の実態に則して資質・能力に応じた授業形態、指導方法を工夫する。また、生徒個々の課題を踏まえた授業研修会を行う。 ②教務部、生徒指導部を中心に授業規律を高める。	①授業アンケートで授業において「おむね満足」と回答している生徒が9割以上であるか。 ②欠点保有者が減少したか、成績優秀者が増加したか。		
		個々の生徒の状況に応じた学校外の力も借り支援を行い、基礎学力を充実させる。	①多文化共生推進員と連携しながら、丁寧な日本語サポートと、授業支援を行う。 ②教務部を中心に、学びの基礎診断や学習サポートを活用し、学び直しと、学習習慣の確立に取り組む。	①授業における理解度、満足度は向上したか。 ②学習サポート参加者の出席率、意欲は高まったか。また、学びの基礎診断を活用し、授業の改善に取り組みめたか。		
2	【現状】 4年間を見据えた系統的な進路指導体制が整っている。しかし、必ずしも望んだ進路実現は果たせていない。生徒が自ら意欲的に学校行事に取り組んでいる。また、部活動も盛んである。 【課題】 ・教職員の働き方改革も視野に入れながら、少人数でも効率的な生徒会行事運営を行う。 ・在学中に就労意識を高め進路決定後の早期離職を防ぐ。 ・職員間で情報共有しながら、外部と連携し、進学希望の生徒への支援を充実させる。 ・校外での体験活動やアルバイト等を推奨して生徒の社会性を育む。	学校生活と学校行事等をより充実させることで、生徒職員間で信頼関係を高め、学校への定着を高める。	①生徒指導部を中心に、通年で生徒と向き合い声かけ等を行い生活習慣の確立に向けた指導を強化する。 ②生徒会を中心に、行事等を運営させることで、生徒の自己肯定感を高め社会性を育む。 ③保健部、担任を中心に、教育相談的な対応を行い安易な中途退学を防止する。	①生徒の出席率が高まったか。 ②学校行事等学校生活の満足度が高まったか。 ③安易な中途退学を防止できたか。		
		4年間を見据えた、教科領域横断的で系統的な進路指導を外部と連携して実施する。	①進路指導計画を基に、全教職員が情報を共有して一人一人の進路希望の実現に向けた指導を適切に行う。 ②就職支援アドバイザーと連携し、支援を行い望む進路実現を果たす。 ③教務部を中心に、学習サポートや資格取得の指導を行い、進学を目指す生徒への効果的な支援を行う。	①進路行事等の振り返りシートの記述に進路意識の高まりが確認できたか。 ②生徒のアルバイト等の就労状況は高まったか。4年生が希望の進路を実現できたか。 ③学習サポート等で上級学校進学や、資格取得のための学習を行っているか。		
3	【現状】 生徒が地域行事に積極的に参加している。ホームページの適切なタイミングでの更新により、新型コロナウイルス感染防止の為の措置などの連絡状況は、生徒・保護者・地域共に良好である。 【課題】 ・保護者の学校への関心をより高める。 ・地域の方々等に生徒の頑張りを直接見ていただく機会を増やす。 ・県唯一の定時制女子高校として、中学生への本校のPRを積極的に行う。	PTA活動を活性化する。	①PTA部を中心に、保護者にPTA行事、学校行事への参加を促す。 ②担任を中心に、生徒の様子を家庭に対し多種の方法を使い連絡する。 ③職員がホームページを通して、生徒の活動の様子などを発信する。	①アンケートにより学校に対する保護者の満足度が高まったか。 ②PTA行事、学校行事における保護者の参加数が増加したか。 ③ホームページの更新回数が80回以上であったか。		
		地域社会との連携を深める。	①教務部を中心に、講演会等を地域に開放するとともに、ホームページ、学校公開等で中学生及びその保護者に、本校の魅力を伝える。 ②生徒会を中心に、地域行事への参加を呼びかける。	①講演会、学校公開等に地域の方、中学生及びその保護者の参加があったか。 ②生徒が地域の行事に参加したか。		

学 校 関 係 者 評 価		
実施日 令和3年 月 日		
学校関係者からの意見・要望・評価等		